

研究計画書

ゼミ名	小山ゼミⅡ	チーム名	ディーバ
タイトル	コンビニ業界の実態		
テーマ群	e)産業・企業		
メンバー			
研究計画内容	<p>私たちはコンビニ業界について研究します。まず、仮説の1つ目として消費者はコンビニやスーパーマーケットの小売店に対してどのような利便性を求めているのかという仮説を立てる。コロナ前後でコンビニとスーパーマーケットでは大きく売りがかわっていることやそれぞれのコンビニの年代別の消費者を調べる。この時にアンケート調査で具体的な数字を使って信憑性を深めていく。2つ目の仮説はスーパーマーケットとコンビニは同じ小売店なのにコンビニは寡占状況になっているのかという仮説を立てる。駐車場などを含めた敷地面積の大きさなどの問題を調べる。3つ目の仮説として、コンビニ業界は店舗数の飽和で今後衰退していくのではないかという仮説を立てる。まずは、衰退している序長としてコンビニ全体的に人手不足が関係していると考え。そこからその理由のため24時間営業の体制をやめている店舗が多くなっているのか、なぜコンビニで働く人が減少しているのか、消費税率10%対応のためレジの変更が大きく影響したのではないかなどを調べる。最後の仮説として、なぜ各コンビニ会社によって差がでたのかという仮説を立てる。セブンイレブンのシェアが大きい理由、ローソンはフランチャイズチェーンとして色々な業態があるが今後もその形が崩れる可能性はないのか、地方コンビニ（セイコーマートなど）はなぜ各地域に根付いていったのかなどについて調べる。コロナ前後の消費者の行動と企業側の行動についてもデータ化して調べる。</p>		